

<p>マクロ経済 産業動向</p>	<p>(1) 【2日 Daily Star 紙】 2018年1月の海外送金受取額は、前年同月比37%増の13.7億ドルに達した。これは5カ月ぶりに高い水準。中央銀行関係者は「特に中東諸国を含むグローバル経済の力強い回復が、海外送金受取額の増加に貢献した。更に、タカ安ドル高の為替市場の動きも、この動きを後押しした」と述べた。</p> <p>(2) 【2日 Daily Star 紙】 Light Castle Partners 社（現地コンサル会社）は、12産業の102社のトップを対象とした調査結果を発表。この中で現地企業のトップの多くは情報通信、製薬、農産物加工、電力、皮革、縫製産業が有望な分野であると認識している一方、政府の規制、インフラ、労働者の技術、金融へのアクセスなどに課題を感じていることが明らかになった。</p> <p>(3) 【4日 Daily Star 紙】 2017年のアウトソーシング産業（Business Process Outsource : BPO）の市場規模は、前年比24%増の2億1,000万ドルに達した。業界関係者は「じきに10億ドルの規模に到達するだろう」と述べた。近年、4万人を超える若者が、およそ100社でBPOに従事しており、2021年には、その数は10万人を超えると見られている。</p> <p>(4) 【5日 Daily Star 紙】 1カ月間にわたって開催された Dhaka International Trade Fair が、当初より5日間延長された後、昨日閉幕した。このFairでは、50社の外国企業を含む587社が出展し、総額1,946万タカの売上を記録した。関係者は、「政治的安定が今年のFairの成功に繋がった」と述べた。</p> <p>(5) 【9日 Daily Star 紙】 今シーズンの小麦の作付面積は34.9ヘクタールに留まり、前年より79%も減少した他、過去30年間で最も少ない面積となった。多くの農民は、小麦の作付け時期に雨が降ったこともあり、乾季米の栽培に流れた。更に、業界関係者は「昨今の高い米価も、このような農民の意思決定を後押しした」と述べた。</p> <p>(6) 【11日 Daily Star 紙】 政府の報告書によれば、バングラデシュでは動物性たんぱく質においても食糧自給（self-sufficient）を達成した由。魚では、405万トンの需要に対し、2016/17年度の生産量は413万トンに達した他、肉でも713万トンの需要に対し生産量は715万トンであった。バングラデシュ政府関係者は「魚および肉の生産量で食糧自給を達成したのは初めてだ」と胸を張った。</p> <p>(7)</p>
-----------------------	---

	<p>【19日 Daily Star 紙】 18日、「Reforms Need to Facilitate Private Sector Engagement for SDGs Achievement in Bangladesh」と題されたセミナーが開催され、この中で専門家は「バングラデシュは民間セクターが直面する課題を解決しなければ、2030年までにSDGsを達成することは出来ない」と強調した。バングラデシュの民間セクターは、インフラ投資の減少、熟練労働者の不足、電力不足、無計画な都市化および大気汚染などの</p> <p>(8) 問題を抱えている。</p> <p>【21日 Daily Star 紙】 Robi社は昨日、64郡で4Gのサービスを開始した。同社の関係者は「お昼前には我が社の35,000名のお客様が4Gを利用していた。我が社では3Gと同じ料金で4Gを利用できる」と述べた。同社は現在までにバングラデシュ国内に1,500の基地局を敷設した他、今月末までにその数は2,500まで増やすとし、211億タカの投資を行った。</p> <p>(9) 【21日 Daily Star 紙】 バングラデシュの企業は、FacebookやGoogleなどのデジタル・マーケティングに年間100億タカを支出している。デジタル・キャンペーンが急速に普及した背景は、ソーシャルメディアの普及とアルゴリズムの進化により、最適な顧客を割り出せるようになった為である。業界関係者によれば、2017年に11億タカがデジタル・マーケティングに費やされ、この内およそ50%はFacebookに、残りの半分はGoogleに振り分けられた由。バングラデシュの市場規模は、150億から160億タカであると見られる。</p>
財政 税制	<p>(1) 【13日 Daily Star 紙】 今年度当初7か月間(2017年7月～2018年1月)の開発予算の執行額は、前年同期比37%増の5億4,718万タカに達した。海外援助のプロジェクトによる執行額が2億3,336万タカで、同120%増の伸びを見せた。</p>
金融・物価・ 為替	<p>(1) 【9日 Daily Star 紙】 Agent Bankingモデルが急速な広がりを見せ、農村地域の人々に革新的な金融サービスを提供している。例えば2017年にAgent Bankingモデルにおける貯蓄総額は前年より5倍増の200億タカに達した他、海外送金受取額も6倍増の198億タカに達した。現在では14の銀行がAgent Bankingモデルを実施している。</p>
貿易	<p>(1) 【7日 Daily Star 紙】 2018年1月の輸出額は前年同月比3.54%増の34.1億ドルに達した。また今年度当初7か月間(2017年7月～2018年1月)の輸出総額も、前年同期比6.55%増の213.2億ドルとなった。これは縫製品、ジュート及び家具類の輸出が伸びた為。</p>

	<p>(2) 【21日 Daily Star 紙】 2016年のアメリカ向けデニム製品の輸出額は、前年比 31.48%減の 2億 9,504 万ドルに留まった。2017年のデータは未だ公表されていないものの、業界関係者は2016年と同水準との見方を示した。これは、アメリカ政府がデニム製品など特定製品の製造工場をアメリカ国内に建設する為に財政支援を行っていることが背景。</p> <p>(3) 【22日 Daily Star 紙】 バングラデシュの皮革産業は、インド政府が同国の皮革産業に対し巨額の財政支援を打ち出したことから、グローバル市場で苦戦を強いられている。両国の皮革産業は、EU やアメリカ、日本を輸出先としていることが共通する中、インド政府は2017/18年度から4億 470 万ドルの支援を打ち出した。今年度当初7カ月間（2017年7月～2018年1月）におけるバングラデシュの皮革産業の輸出額は7億 951 万ドルで、前年同期比 4.61%下落した。</p> <p>(4) 【13日 Daily Star 紙】 今年度上半期（2017年7月～12月）の貿易赤字は、前年の同期間より倍増し 86.2 億ドルに達した。もし、このペースが続いた場合、今年度の貿易赤字は 190 億ドルに達する見通し。専門家は、この背景につき輸入の急増を挙げた。実際、同期間に輸入は 25.76%増加して 263.1 億ドルに達した他、輸出は僅か 7.8%増（176.9 億ドル）であった。</p>
<p>雇用問題 海外出稼ぎ 社会保障</p>	<p>(1) 【8日 Financial Express 紙】 過去3年間で4,000名の女性出稼ぎ労働者が、サウジアラビアから搾取などにより帰国した。この内、2,641名が2017年に帰国している上、多くの女性出稼ぎ労働者がセーフホームで待機している。この3年間でおよそ15万人の女性出稼ぎ労働者が派遣されており、搾取などの被害にあった割合は2.67%と考えられる。</p> <p>(2) 【19日 Daily Star 紙】 インフォーマルな小規模事業者が、フォーマルな事業者に転換するには費用や障害が多いことから、インセンティブや政策の後押しが必要。DFID や国際 NGO が主催したセミナーで、専門家は「インフォーマル・セクターでは多くの人々が働いていることから、このセクターへの理解を深めることが重要」と強調した。</p>
<p>社会</p>	<p>(1) 【9日及び10日 Daily Star 紙】 8日、ダッカ市仮設裁判所は、カレダ・ジア BNP 総裁に対し横領の容疑（Zia Orphanage Trust case）で禁固5年の有罪判決を下した。ジア総裁は判決後、直ちに旧ダッカ中央刑務所に投獄された。これを受け BNP はダッカ、チッタゴン、シレットなど全国各地での抗議活動を実施。8日だけで1名が死亡した他、およそ100名が負傷した。更に</p>

	<p>BNP は控訴する方針を示している他、抗議活動は継続して実施する考えを表明。</p> <p>(2) 【13日 Daily Star 紙】</p> <p>生けす式養殖として知られる新しい形の養殖が河川で広まっており、養殖の漁獲高の増加に向けた期待が高まっている。6,000 近い生けすで主にティラピアの養殖が、10 年前までは養殖が行われていなかった河川で行われている。バングラデシュには 85.3 万ヘクタールの河川を有しており、2015/16 年度には魚の収穫高 387.8 万トンの内、27% が生けす式で生産されている。</p>
--	--

(了)